

**2020年度  
新型コロナウイルス感染症対策  
青梅市サッカー協会主催競技会開催に向けたガイドライン**

**I. ガイドラインの目的**

1. 選手並びに関係者の安全を最優先に考えて最大限の感染防止対策のもと競技会を開催する
2. 競技会の開催に当たり遵守すべき行動基準及び対応を示す
3. 競技会を安全に運営することで選手の運動機会の確保とサッカーが持つ活力を確保する

**II. 組織**

1. 少年部内に感染対策責任者を設置する  
( 1 ) 少年部の感染対策責任者(正)は部長、(副)は副部長の2名とする
2. 感染対策責任者は、各会場における感染対策を徹底するとともに常に青梅市サッカー協会と連絡をとり感染が確認された場合は迅速に対処する

**III. 会場・運営役員等の安全確認**

1. 会場準備・試合前の確認事項
  - ( 1 ) 会場毎に感染対策責任者(正副)として2名以上の役員を配置する
  - ( 2 ) 役員が配置できない場合は、会場責任者がその役を担う
  - ( 3 ) 感染対策責任者は、会場の感染対策を把握し来場者に対してアナウンスするとともに各チームの大会参加・健康チェックシート及び来場者名簿の保管管理を行う
    - ・ 提出を求められた場合には速やかに提出できるように管理する
  - ( 4 ) 会場における運営役員はマスクを着用する
  - ( 5 ) 会場における運営役員は手指消毒及び手洗いを定期的に励行する
  - ( 6 ) 来場チームから大会参加・健康チェックシート及び来場者名簿を回収して確認する
  - ( 7 ) 健康チェックシート及び来場者名簿において健康状態等に不適合があった場合は帰宅していただく
  - ( 8 ) 間隔を確保して各チームの待機場所を決める
  - ( 9 ) 試合のベンチは間隔を空けて座れるように配慮する
  - ( 10 ) 試合前後に該当チームが入退場する動線を確保する
  - ( 11 ) 可能な限りベンチ・トイレ等の消毒を行う
  - ( 12 ) 各会場の会場施設利用に関するガイドラインに従うこと
2. 試合前後及び試合中における注意事項
  - ( 1 ) 用具チェックは選手同士が近くならないようにできる限り広い屋外で行う
  - ( 2 ) 用具チェックの際、審判はマスクを着用する
  - ( 3 ) ピッチ内で両チームの整列、挨拶はしない
  - ( 4 ) 対戦チームの選手同士及び審判と握手しない
  - ( 5 ) コイントスはキャプテン同士の距離を2m以上確保する
  - ( 6 ) 円陣を組まない
  - ( 7 ) 得点時等にハイタッチ、抱擁を行わない
  - ( 8 ) ピッチ内でもできる限り咳エチケットを守り、つばを吐いたりしない
  - ( 9 ) 同じボトルを他の選手と共用せず、口に含んだ水をピッチ内に吐かない
  - ( 10 ) タオル等を他の選手と共用しない

- ( 11 ) ピッチ上でチームメイトまたは審判と会話する場合はその距離について配慮する
- ( 12 ) 試合後は審判、相手チーム及び自チームへの挨拶は行わない
- ( 13 ) ピッチへの入退場は決められた動線で移動する
- ( 14 ) 第4の審判を配置した際はマスクを着用し選手交代の際に選手同士が近くならないように配慮する

#### **IV. 参加チームの安全確認**

##### **1. 事前の確認事項**

- ( 1 ) チームとして大会参加を承諾している
- ( 2 ) チーム内に感染対策責任者(正副)を設置する
  - ・ 感染対策責任者は、チーム代表者または監督が望ましい
  - ・ 感染対策責任者は、チーム内における感染対策を徹底するとともに会場責任者及び部長と連絡をとり感染が確認された場合は迅速に対処する
- ( 3 ) 選手の参加はチームの判断に委ねるが、原則として強要することはない
- ( 4 ) チームの選手、スタッフ及び帯同者全員の健康チェックシートにて2週間前からの体温等を確認して、大会参加・健康チェックシート並びに来場者名簿を作成し会場に持参する
- ( 5 ) 手指消毒用のアルコール消毒液(ハンドジェル等)を用意する

##### **2. 移動における注意事項**

- ( 1 ) マスクを着用する
- ( 2 ) 移動方法の如何に関わらず極力密を避け、換気を行い、不要な会話を控える
- ( 3 ) 会場到着後、手指消毒、手洗い及びうがいをする
- ( 4 ) 帰路は、寄り道をせずにできるだけ早く帰宅する
- ( 5 ) その他、チームにおける注意事項を遵守する

##### **3. 会場到着から試合前後及び試合中の注意事項**

- ( 1 ) 会場到着後、受付(兼 大会本部)にて事前に準備した大会参加・健康チェックシート並びに来場者名簿を提出して不適合の有無を確認する
- ( 2 ) 選手はウォーミングアップ及び試合中以外はマスクを着用する
- ( 3 ) スタッフは常にマスクを着用する
- ( 4 ) 定期的に手指消毒をする、特に共用物使用後は必ず行う
- ( 5 ) 試合中、スタッフ及びベンチに座る選手はマスクを着用する
- ( 6 ) 得点後の喜び、交代時の握手等、プレー以外の不要な接触はしない
- ( 7 ) ベンチは間隔を空けて座る
- ( 8 ) 氷を入れたクーラー等を共用しない
- ( 9 ) 声を出しての応援は禁止する
- ( 10 ) 前記「Ⅲ.2.(3)～(13)」と同じ

#### **V. 大会運営における安全確認**

##### **1. 感染が確認された場合**

- ( 1 ) 大会終了後、自チーム内において感染が確認された場合、またはその疑いがある場合、チーム代表者は参加した会場の感染対策責任者並びに部長に連絡する
- ( 2 ) 部長は感染状況を把握して青梅市サッカー協会に報告し、以降の指示を仰ぐ

##### **2. マスクの着用**

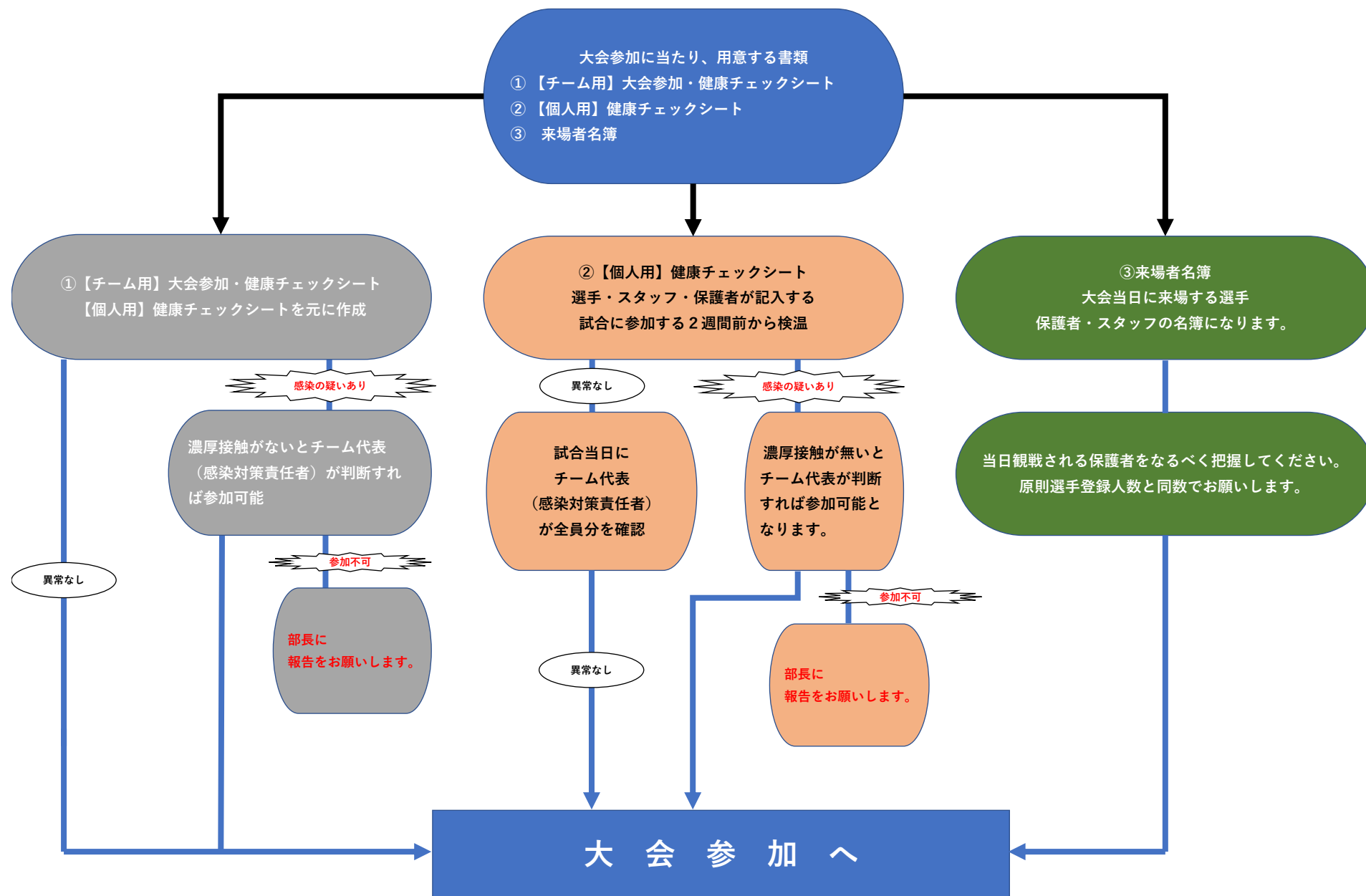
- ( 1 ) 移動時を含めて大会会場内は原則としてマスクを着用する
- ( 2 ) 選手はウォーミングアップ及び試合中以外はマスクを着用する
- ( 3 ) スタッフ、保護者、運営役員及びブロック関係者は常にマスクを着用する
- ( 4 ) 屋外で周りの人と十分な距離(最低でも2m) が確保できる場合は、一時的に外すことができる

( 5 ) 熱中症防止の観点からも周りの状況を確認し上でマスクを一時的に外して熱を放出する

## **VI. その他**

1. 各ご家庭でもバランスの良い食事と十分な睡眠をとり規則正しい生活ができるように心がけ、コロナ感染防止並びに熱中症予防にご協力をお願いします
2. その他ご不明点があれば、都度相談してください
3. 当該ガイドラインは状況を見て更新してまいります

青梅市サッカー協会主催大会への参加に当たり、準備書類のフロー



質 問	回 答
健康チェックシートはだれが必要ですか？	会場に入る全ての人が2週間前からの検温チェックが必要です。各人（保護者）が「【個人用】健康チェックシート」に記載ください。
2週間のうち1日でも発熱があった場合は出場できますか？	出来ません。 ただし次戦の2週間の期間でチェック項目に該当する事項が無ければ出場できます。
健康チェックシートは誰が保管しますか？	各人の保管になり、試合当日にチーム代表（感染対策責任者）が全員の確認をしてもらいます。
チーム内に感染者または感染が疑わしい人がいた場合は参加できますか？	各チームでの感染対策において、濃厚接触が無いとチーム代表（感染対策責任者）が判断できれば参加できます。 もちろん参加者全員（観戦者含む）が2週間健康チェックをして問題がないことが必須です。
健康チェックは試合ごとに必要ですか？	必要です。 (例)9/6試合予定の場合は8/24からの健康チェック（検温）が必要で、二日目が9/20予定の場合は別シートに9/7から健康チェック（検温）を行って下さい。
ガイドラインは選手・コーチのみ知っていればよいですか？	いいえ。 会場に入るすべての人がガイドラインを遵守して頂きます。特に観戦される方は、現地の観戦ルールに沿った会場内移動および応援位置、応援方法をお守りください。
将来的に無観客試合になる場合もありますか？	あります。 開催一日目を進めていく中で感染対策が十分に履行できないと判断した場合は、二日目以降の試合を無観客にする場合もあります。 参加者全員の感染対策ガイドラインの順守ご協力をお願い致します。
大会期間中にコロナ感染者が出た場合はどうなりますか？	チーム代表（感染対策責任者）は必ず少年部・部長に報告し、青梅市サッカー協会の指示を仰ぎます。 以降の対戦方法や順位決定方法についても再考になります。 スケジュール等も変わってきますので、健康チェックは引き続き継続していただけますようお願いします。
来場保護者は選手と同数とありますが、大幅に増えても良いですか？	観戦においてはソーシャルディスタンスを守り観戦応援していただきます。 大勢の入場によりガイドラインを遵守できなくなる可能性がありますので、選手と同数でのご協力をお願い致します。 また、同数でも感染対策が十分でないと判断した場合は以降の試合を無観客にする場合もあります。※未就学児についてはカウントいたしません。
「平熱を超える発熱がない」とありますが平熱は何度ですか？	37.5度以上又は平熱比1度を超える場合を平熱を超えると判断してください。